

レポート『カード不正と将来展望』

世界の不正と主要なソリューションプロバイダーを網羅

本編のレポートでは、「はじめに」で、COVID-19(コロナウイルス) のパンデミックと世界の不正 (Fraud) の状況を概観する。

第1部では、イギリス、オーストラリア、台湾、アメリカなどのカード不正やオンライン不正の状況を俯瞰すると共に、ヨーロッパの PSD2(Payment Service Directive2、決済サービス指令 2) と“強力な顧客認証”(SCA、Strong Customer Authentication) やオーストラリアの APN の CNP 不正削減を図るフレームワークなどペイメント不正対策についてについてレポートする。

第2部では、カード不正 (犯罪) の進化とその対策として、これまでのカード不正の歩みを概観し、オンラインペイメントに関する不正やデジタル ID に対する不正攻撃、個人情報窃盗 (Identity Theft)、フィッシング (Phishing) 詐欺、ATO (Account Takeover、口座の乗っ取り) といった不正・詐欺の手口をレポートするとともに、3D セキュアや FIDO などの不正対策ソリューションを紹介する。

第3部では、Cyber Source(Visa) の“Decision Manager”や“Managed Risk Service”、Brighterion (Mastercard) の“AI Express”、Signifyd、Data Visor の“dVector”や“dCube”、FICO の多彩な“不正対策プロダクト”や“FICO クレジットスコア”、“myFICO”といったオンライン不正検出・不正防止ソリューションを紹介する。

第4部では、欧米の主要な不正ソリューションのプロバイダーを紹介する。次いで、Accertify(アメリカンエクスプレスの関連会社)、ethoca、Simility(Pay Pal の関連会社)、Tieto EVRY (北欧) の4社について、レポートする。

カード不正と将来展望

～世界の不正と主要なソリューションプロバイダーを網羅～



株式会社T.I.プランニング

目次

- はじめに COVID-19(コロナウイルス) のパンデミックと不正 (Fraud)
- ・コンタクトレスペイメント
- ・COVID-19 パンデミックと不正の増加
- ・ACFE(Association of Certified Fraud Examiners、公認不正検査士協会)
- ・2020 年上半期の不正サイバー攻撃
- ・アメリカ司法省 (Department of Justice) の COVID-19 のパンデミック不正に関する警告
- ・シークレットサービス USSS(United States Secret Service)
- ・COVID-19 のパンデミック関連不正・詐欺
- ・Netflix Fraud

第1部 世界のカード不正、CNP 等オンライン不正

- ・世界のカード不正額 (カード決済金額 100 ドルに占める不正金額) の推移 (2010 年～2027 年)
- ・日本のクレジットカードの不正使用被害の発生状況推移 (1997 年度～2019 年度)
- 1、ヨーロッパのカード不正、CNP オンライン不正
- 2、ヨーロッパのカード不正
- 3、北欧の e ID
- 4、PSD2(Payment Service Directive2、決済サービス指令 2) と“強力な顧客認証”(SCA、Strong Customer Authentication)
- 5、イギリスのカード不正、オンライン不正
- 6、イギリスにおけるカード不正対策の歩み (2002 年～)
- 7、イギリスの不正防止キャンペーンの“5つの施策”
- 8、イギリスの APP (Authorized Push Payment Fraud、承認されたプッシュペイメントの不正)
- 9、イギリスの APP(Authorized Push Payment Fraud、承認されたプッシュペイメントの不正) の発生状況
- 10、オーストラリアのカード不正、オンライン不正
- 11、APN の CNP 不正削減を図るフレームワーク
- 12、APC と“Trust ID”
- 13、オーストラリアの Fraud in Banking Forum
- 14、AFCX(Australian Financial Crimes Exchange、オーストラリア金融犯罪情報交換所)
- 15、APC(Australian Payments Council、オーストラリアペイメント評議会) と Web Payment Security Interest Group
- 16、台湾のカード不正
- 17、アメリカのカード不正、オンライン不正
- 18、アメリカのチャージバックとチャージバック不正
- 19、Chargebacks911 の Intelligent Source Detection(インテリジェントソース検出)
- 20、アメリカの主な不正検知ツール
- 21、Masters of Balance、2019 Global eCommerce Fraud Management Report
- 22、E- コマースにおける不正に関する KPI(Key Performance Indicators 主なパフォーマンス指標)
- 23、北米 (アメリカ、カナダ) の事業規模別、業種別の E- コマースにおける不正に関する KPI(Key Performance Indicators 主なパフォーマンス指標)
- 24、不正防止ツールに対する満足度

第2部 カード不正 (犯罪) の進化とその対策

- 1、カード不正 (犯罪) の進化へのフォアランナー (前史)
- 2、カード不正・犯罪の進化 (1980 年～2020 年)
- 3、オンラインペイメントに関する不正 (犯罪)
- チャージバック手数料
- 4、デジタル ID に対する不正攻撃
- 5、個人情報窃盗 (Identity Theft)
- 6、フィッシング (Phishing) 詐欺
- 7、ATO(Account Takeover、口座の乗っ取り)
- ATO(Account Takeover、アカウントの乗っ取り) に関するアンケート
- 8、ATO(Account Takeover、口座乗っ取り) の情報源
- 9、ATO(Account Takeover、口座乗っ取り) の構造
- 10、ATO(Account Takeover、口座乗っ取り) 攻撃の手法
- 11、ATO(Account Takeover 口座の乗っ取り) 特徴のまとめ
- 12、ATO(Account Takeover 口座の乗っ取り) 詐欺の検出と防止
- 13、3D セキュア
- 14、3D セキュア 2.0
- 15、RBA(Risk-Based Authentication、リスクベース認証)
- FBI のクレジットカード詐欺対策
- 16、FIDO (Fast Identity Online) Alliance
- 17、FIDO 認証の仕組み

第3部 オンライン不正検出・不正防止ソリューション

- 1、Cyber Source(Visa)
- 2、Cyber source の“Decision Manager”
- 3、Cyber Source の“マネージドリスクサービス”(Managed Risk Service)
- 4、Cyber Source の概要
- 5、By Brighterion (Mastercard)
- 6、アクワイアラーとマーチャント (カード加盟店) にとっての高度な AI モデルの利点
- 7、Brighterion の AI Express
- 8、Brighterion のマーチャント (カード加盟店) 不正・詐欺の対策ソリューション
- 9、Signifyd
- 10、Data Visor
- 11、dVector- 不正検出ソリューション (2017 年リリース)
- 12、dCube- 包括的な不正管理ソリューション (2019 年にリリース)
- 13、FICO
- 14、FICO の多彩なプロダクト
- 15、FICO の不正対策プロダクト
- 16、FICO の不正対策関連サービスとソリューション
- 17、FICO の銀行など金融機関向けの不正対策アプリ
- 18、FICO のクレジットスコア
- 19、myFICO

第4部 欧米のソリューションプロバイダー (未定稿)

- 1、欧米のカード不正、オンライン不正のソリューションプロバイダー
- 2、Accertify (アメリカンエクスプレスの関連会社)
- 3、Ethoca (Mastercard の関連会社)
- 4、Simility (Pay Pal の関連会社)
- 5、Tieto EVRY (北欧)

●編集・発行：T.I.プランニング ●発売：2021 年 3 月 29 日 (予定) ●4 色オールカラー

●価格：本体価格 100,000 円＋税 (税込価格 110,000 円)→送料は無料となります。

東京都新宿区若葉 1 丁目 4 番地 2 スミカビル 4F TEL:03-5357-7077

お問い合わせ：support@paymentnavi.com

ペイメントナビの Web サイトからお申し込みが可能です。